

江 南 区
区ビジョンまちづくり計画
第2次実施計画

平成29年度－30年度

【平成30年度改訂版】

新潟市江南区役所

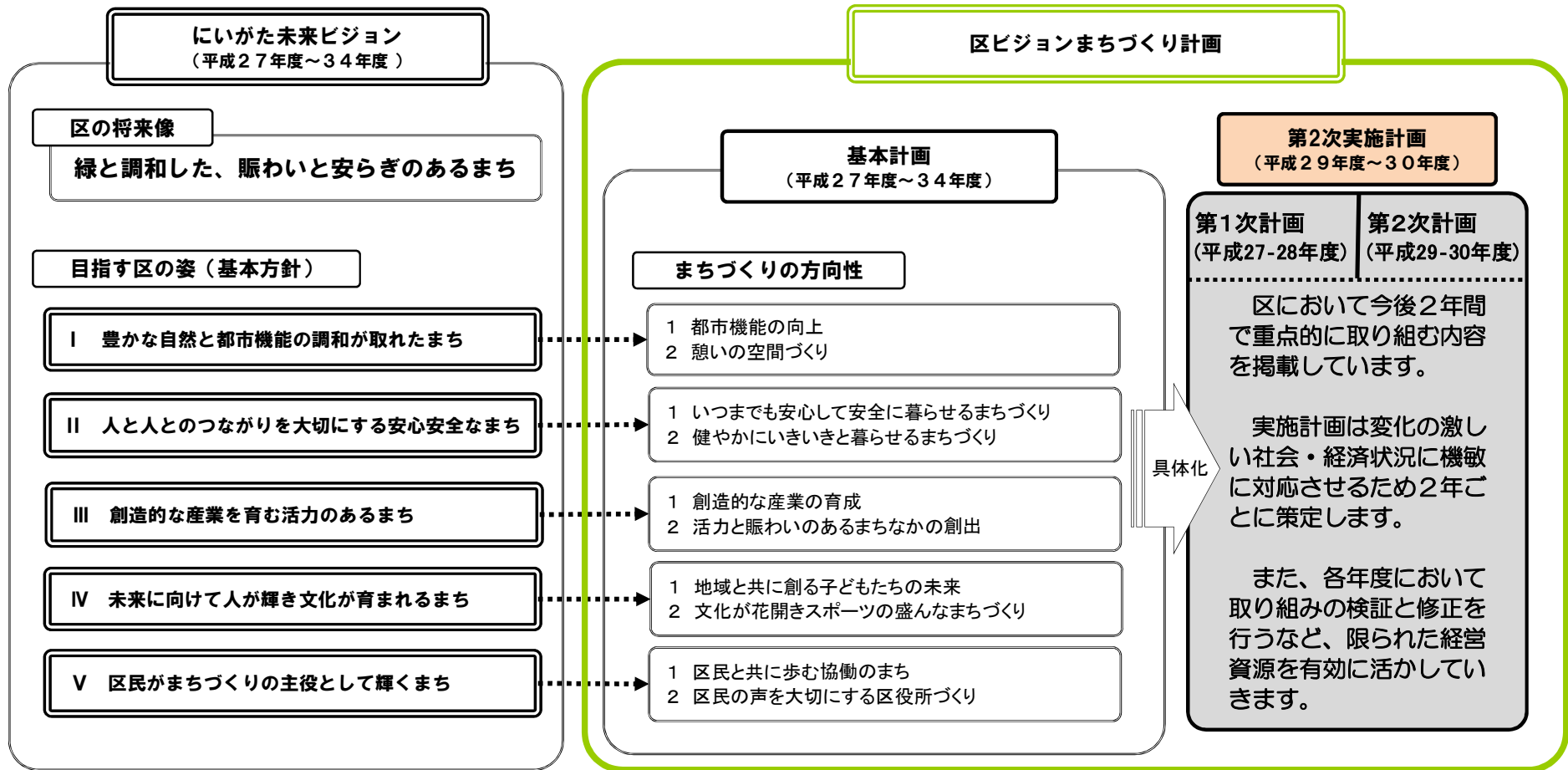
目次

区ビジョンまちづくり計画の概要	1
I 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち	2
1 都市機能の向上		
2 憩いの空間づくり		
II 人と人とのつながりを大切にする安心安全なまち	8
1 いつまでも安心して安全に暮らせるまちづくり		
2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり		
III 創造的な産業を育む活力のあるまち	15
1 創造的な産業の育成		
2 活力と賑わいのあるまちなかの創出		
IV 未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち	19
1 地域と共に創る子どもたちの未来		
2 文化が花開きスポーツの盛んなまちづくり		
V 区民がまちづくりの主役として輝くまち	24
1 区民と共に歩む協働のまち		
2 区民の声を大切にする区役所づくり		

区ビジョンまちづくり計画の概要

区ビジョンまちづくり計画とは、区におけるまちづくりの基本的な方針として「にいがた未来ビジョン」（新潟市総合計画）の一部に位置づけられている「区ビジョン基本方針」に基づく、まちづくりの具体的な取り組みを示したものです。

区では、区民と行政が区の目指す方向性を共有し、お互いに役割を分担しながら、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを協働で進めていきます。



豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

- 主要な道路の結節点やJR信越本線を有する交通の要衝としての利便性を活かして、人と物が交流し誰もがいきいきと快適に生活できるよう、道路や公共交通などの環境整備を進め、都市機能の向上を図ります。
- 緑豊かに広がる田園風景と信濃川、阿賀野川、小阿賀野川を結ぶ水と緑のネットワークづくりやその活用と、資源循環型社会の構築を目指した環境にやさしいまちづくりを推進するなど、自然環境との共生を図り、未来の世代につなげます。

1 都市機能の向上

人と物が交流し、快適に生活できるよう、道路や公共交通などの環境整備を進め、都市機能の向上を図ります。

(1) 道路網の充実

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	(主) 新潟中央環状道路整備 【横越バイパス工区】 【城所工区～酒屋工区】	本事業により、新潟空港、新潟東港などの国際交通拠点を効果的に連結するとともに、日本海東北自動車道豊栄新潟東港ICや、国道49号とのアクセス向上を図り、江南区の円滑な交通の確保を目指します。	【横越バイパス工区】 用地買収、道路整備 【城所工区～酒屋工区】 用地買収、道路整備	【横越バイパス工区】 用地買収、道路整備 【城所工区～酒屋工区】 用地買収、道路整備
2	(都) 亀田南線整備	(主) 新潟亀田内野線～(一) 白根亀田線間を延伸して国道49号に取り付け南北交通軸の機能向上を図り、(主) 新潟亀田内野線等の東西交通軸と併せて環状型の幹線道路網を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡本発掘調査 ・道路植栽：N=650本(オムササツ) ・用水移設(亀田郷土改補償) 	道路整備(全線供用開始予定)
3	亀田252号線整備	本路線整備により区の東西方向の交通ネットワークを形成すると同時に、(主) 新潟亀田内野線のバイパスとしての機能を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝布設工：L=160m ・用水管布設(亀田土改補償) 	—
4	南7-346号線他整備 (公園線延伸)	本路線の整備により、周辺の道路網が強化され、円滑な交通の確保と自転車・歩行者の安全確保、災害時の避難・緊急輸送機能などの防災機能の向上を図ります。	道路整備 L=853m	道路整備
5	亀田480号線整備	日本海東北自動車道新潟亀田ICからの円滑な交通を確保するため、亀田1-480号線及び(一) 白根亀田線等の南北交通軸の機能向上を図り、東西交通軸と併せて幹線道路網を構築します。	用地買収及び補償契約：2件 ※全事業用地取得完了	平成29年度契約箇所の建物等除却 ※H29⇒H30繰越し
6	(都) 亀田中央線整備 (主) 新潟新津線	亀田市街地を南北方向に連絡するバス路線で通勤・通学に利用されている本路線の街路整備により、亀田駅前交差点などの渋滞緩和を図ります。	道路整備	—

7	(都) 太平大淵線整備 嘉瀬蔵岡線5号	新潟空港と日東道新潟空港ICを連絡する第一次緊急輸送道路の「下山江口線」を補完する幹線道路であるが、当該区間は幅員が十分確保されていないため、現道を拡幅整備することで新潟空港アクセスの多重性を確保するほか、災害時の道路網の強化、避難・緊急輸送機能にもつなげます。	道路詳細設計	—
8	(主) 新潟亀田内野線 西山茗荷谷歩道整備	東区一日市を起点として新潟市市街地を経て西区内野に至る主要幹線道路のうち、本事業箇所である車道2車線の整備済み区間について、歩道を新設することにより歩行者の危険を解消し、安全性の向上を図ります。	【北山拡幅】 道路整備	【北山拡幅】 用水管布設（亀田土改補償）
9	(主) 新潟新津線 亀田跨線橋整備	亀田跨線橋は架設から50年以上経過し、老朽化が著しい状態です。 新橋建設により地域間連携を推進するとともに、緊急輸送道路である国道49号への円滑な交通を確保し、江南区南部の災害時の避難・緊急輸送機能の向上を図ります。	用地測量、JR委託（設計業務）	JR委託（工事）
10	亀田263号線整備	亀田地区の中心として将来の発展に重要な位置を占めることに加え、(主)新潟亀田内野線の渋滞緩和にもつながることから当該路線の整備を促進し、市街地交通の分散、誘導を図ります。	道路改良工事（全線供用開始）	
11	沢海横越線他整備	中心市街地と周辺集落の沢海・小杉地区を結ぶ幹線道路であるが、現況幅員5m前後の狭い道路であり、不便をきたしています。 阿賀用水路の改修に合わせて拡幅改良し、集落間の幹線道路として車両の円滑化を図り交通の利便性を確保します。	阿賀用水路改修（新潟県）	阿賀用水路改修（新潟県）
12	南7-383号線整備	天野地区は歩道が整備された道路が少なく、曾野木小学校への通学時の安全確保が課題となっていることから、老朽化した天野排水路の具施工の矢板護岸暗渠化改修に併せて、水路用地を活用した道路整備を行い、地区内の円滑な交通や通学児童の安全性の確保を図ります。	• 用地測量 • 用地買収 • 道路整備	道路改良
13	砂崩南線整備	(主) 新潟港横越線と亀田160号線を東西で結び、交通ネットワークを形成すると共に、住民の利便性の向上を図ります。	盛土工事	• 遺跡調査 • 用水移設
14	割野酒屋町線整備 歩道設置	現況歩道は、旧小阿賀用水路の上部にコンクリート床版を設置した箇所を利用しており、道路面から約50cm高く、歩道を利用するのに階段を使用することから、冬期積雪時には、滑って転倒する危険があるため、歩車道の段差を解消して安全性の向上を図ります。	道路整備 L=254m	道路整備

(2) 公共交通のさらなる利便性の向上

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	区バスの運行事業	アスパーク亀田-亀田駅西口-新潟市民病院間を区間とする区バスを運行します。より利用者ニーズを踏まえた運行となるよう努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 区内主要施設でアンケート調査を実施 通学に利用できるようダイヤを見直し 	区バスのさらなる利便性向上に向けた取り組みの実施（ダイヤ見直し等）
2	住民バス補助事業	各地区の状況に合わせ、人口密度などの地域要件を考慮した補助率に見直すなど生活交通の確保に向けた支援を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> 運行費に対する補助 運行にかかる事務費に対する補助 運行にかかる設備に対する補助 土曜運行の社会実験に対する補助 	補助金による運行支援
3	つかいやすい公共交通会議	区内公共交通関係機関の意見交換の場を設け、相互の理解を深め連携を強化します。	年1回実施 (住民バスのルート等に関する意見交換の実施)	年2回実施 (過年度に実施した調査をもとにした意見交換やJR信越線や区バスと住民バスとの乗り換えを踏まえたダイヤ検討 など)
4	交通の利便性を活かした区づくり	区民や公共交通事業者などと連携し、利便性の高い公共交通体系の構築に向けて、解りやすく、使いやすい視点での情報紙の作成とPR事業を行い、バス利用の促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> バス乗車体験学習会の実施（東曾野木小学校1,2年生114名） 公共交通情報紙の発行 	事業名を変更し継続No.6へ移行
5	二本木地区開発事業 (新駅設置・パーク&ライド)	(仮称) 江南駅周辺土地区画整理事業による新駅の創設と合わせ、都市再生整備事業等の導入による駅前広場やパーク&ライド駐車場及び都市計画道路等の公共施設整備を検討します。	土地区画整理準備組合と施設整備について検討・調整を行った。 【中央環状道路のJR信越線跨線橋周辺のバリアフリー施設の検討】	公共施設整備の検討
6	みんなで語り、考える使いやすい公共交通	区内の多様な交通の利便性等について、利用する地域住民自らが語り、考えることで、より地域が使いやすい公共交通の実現を目指すとともに、過度な自動車依存からの転換を推進します。		<ul style="list-style-type: none"> 地域とのワークショップの実施（2地区） バス乗車体験学習会の実施 路線案内の充実

(3) 計画的な土地利用

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	市場周辺地区土地区画整理事業など	新潟市中央卸売市場機能の補完・強化や市場間競争力の強化及び消費者の高度化・多様化の対応、環境負荷の低減と新たな雇用の創出など拠点形成に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 市場周辺地区：完了・解散 市場周辺第2地区土地区画整理組合設立準備土地区画整理事業への指導・助言と技術支援（基本設計） 	<ul style="list-style-type: none"> 市場周辺第2地区土地区画整理組合設立土地区画整理事業への指導・助言と技術支援（造成工事に着手）
2	(仮称) 江南駅周辺地区土地区画整理事業	土地区画整理事業により新駅を設置するとともに、(主)新潟中央環状道路とJR信越本線の交通結節点における様々な事業を展開することで、交通拠点の創出など、江南区はもとより本市の持続的な発展につなげます。	土地区画整備組合設立準備の助言・技術支援を実施 [準備委員会が市長へ、駅設置・区画整理の実現に向けた要望書を提出]、[本庁関係部署を含め勉強会の開催]	土地区画整備組合設立準備の助言、技術支援
3	農村集落維持活性化事業	人口流出や高齢化に伴い、地域のつながりや活力低下が懸念される農村集落において、集落の維持活性化に向けた「田園集落づくり制度」、「新潟市開発行為等の許可の基準に関する条例」の周知などの取り組みを進めていきます。	「新潟市開発行為等の許可の基準に関する条例」の運用の見直しを行い公表。[約14%の空閑地候補地が減少]	「田園集落づくり制度」、「新潟市開発行為等の許可の基準に関する条例」周知
4	江南区未来づくりプロジェクト	江南区の豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網などの強みを最大限活用する方策について、人口、産業、土地活用を踏まえて検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 江南区まちづくり協議会の設立、意見交換の実施（年3回） 新たな工業用地確保を踏まえた、宅地の必要性、適地や規模の検討 	(仮称) 江南駅が設置された場合の効果及び効果が最大限発揮される条件の検討

2 憩いの空間づくり

水と緑のネットワークづくりやその活用と、資源循環型社会の構築を目指した環境にやさしいまちづくりを推進するなど、自然環境との共生を図り、未来の世代につなげます。

(1)水辺空間の活用

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	自転車区めぐり環境の整備推進	阿賀野川フラワーライン・小阿賀野川河川公園など、自転車道の利用促進を図るため「区めぐり自転車交流会」を継続して開催することで、健康づくりの推進と交流人口の拡大につなげます。	開催日：平成28年9月10日 会場：区役所スタート・ゴール 参加者数：200人	「いい汗いい食江南健幸ライド」に名所変更し開催 開催日：9月9日（日）

(2)公園整備

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	地区公園整備事業	憩いの場や健康づくりの場に加え、災害時の拠点としても重要な防災機能という観点など、多様な目的に対応した公園整備について検討します。	検討：実施 アンケートを実施し、公園利用者のニーズを調査	⇒

(3)環境保全対策の推進

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	江南区一斉環境美化活動	環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、江南区全域で一斉清掃を行い、区民協働での美しいまちづくりの実践と同時に地域力・市民力のさらなる向上を図ります。	参加人数 4,524人	秋の江南区一斉清掃事業は廃止し、春の一斉清掃月間に統合。 参加人数目標：9,500人/年 (一斉清掃月間及び年間ボランティア清掃の参加人数)
2	不法投棄対策事業	亀田郷不法投棄対策連絡協議会や自治会等の関係機関と連携し、啓発看板や監視カメラの設置等、不法投棄防止バトロールを実施し豊かな環境を守ります。	クリーンにいがた推進員によるバトロールを実施 啓発看板の設置等：啓発看板を希望する自治会に配布又は設置 監視カメラ設置：希望した2自治会に貸与・設置	不法投棄防止のため啓発看板や監視カメラの設置等を行う。

人と人とのつながりを大切にする 安心安全なまち

- 震災、風水害、津波災害などさまざまな自然災害から区民の生命と財産を守るため、地域の特性を踏まえた災害に強いまちづくりを進めます。自らの安全は自ら守り、地域の安全は地域で守る交通安全・防犯意識の高い地域社会の実現を目指します。
- 住み慣れた地域で、生涯を健やかに安心して暮らせるまちを目指します。誰もが気軽に立ち寄れる場や活動の拠点づくりを進めるとともに、「ふれあいと支えあい」を大切にし、人と人とのつながりを感じられるまちを目指します。

1 いつまでも安心して安全に暮らせるまちづくり

さまざまな自然災害から区民の生命と財産を守るため、地域の特性を踏まえた災害に強いまちづくりを進めます。

(1) 防災力の向上

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	自主防災組織強化事業	自主防災組織の結成を促進するため、説明会を開催します。また、結成後の人的・物的支援を強化するため、地域防災訓練へ活動助成するとともに、指導員の派遣や貸し出し資機材の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 新たに4組織設立した。 地域防災訓練に職員も参加した。(23回) 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の結成促進 地域防災訓練への支援
2	ジュニアレスキュー隊育成講習会	災害時において地域と連携した防災活動に対処できる人材を育成するため、中学生に防災講習を実施するなど、ジュニアレスキュー隊を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> 公立6中学校でジュニアレスキュー隊の育成を実施した。 	講習会の開催：公立6中学校で実施
3	江南区防災訓練事業	災害発生時の初動迅速化や防災意識の啓発に向け、住民参加の防災訓練を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 江南区防災訓練の計画を検討 コミ協主催防災訓練への協力(4コミ協に計5回) 	江南区防災訓練の開催
4	避難行動啓発事業	防災講演会の開催、ハザードマップの作成など、災害発生時の避難行動に関する啓発活動を実施することで、地域の安心安全を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> イベントを利用した防災啓発の実施(江南区旬果旬菜いきいきフェスタ、横越コミ協主催「楽しく学ぶ防災の日」) 	市民向け防災啓発の実施
5	避難対策の推進	災害発生時の避難所の円滑な運営を図るため避難所運営体制検討会を開催するとともに防災備蓄品を整備します。また、災害情報の伝達手段や入手方法を周知徹底するとともに、新たな伝達手段について検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、町内会より緊急連絡網を提出してもらった。 簡易トイレ、簡易タンカの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 災害情報伝達手段の充実 防災備蓄品の整備
6	江南区安心・安全な地域づくりの推進	区内の「防災・防犯・交通安全」の分野をさらに向上し、地域と協働で「安心・安全な地域づくり」の推進を図るため、活動の支援および資機材の整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 区内8コミ協で実施(登下校安全向上事業、防犯見回り隊事業、避難所案内標識設置、避難所用テント・発電機設置、防犯灯設置など) 	区内8コミ協で実施

(2) 防犯・交通安全の活動強化

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	防犯活動の強化	防犯意識を高めるため、警察等関係機関・団体と連携し、防犯キャンペーンを実施します。また防犯への日頃の注意喚起のため、定期的・緊急時に青色回転灯装着車で巡回を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 防犯キャンペーンの実施：平成29年10月に実施 防犯パトロールの実施：年間32回実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯広報活動の実施 防犯パトロールの実施
2	交通安全活動の強化	交通安全運動期間における街頭指導・啓発活動を実施するとともに、保育園・小中学校及び老人クラブ等での交通安全教室を開催します。また、小学校区単位の校区交通安全推進協議会の交通安全活動へ助成するなど交通安全の向上に向け取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動など：計画に沿って実施 交通安全教室を区内全ての園、小学校で実施 校区安全推進協議会への支援：区内10校の小学校区において、のぼり旗、路面標示ストップマーク、啓発品等交通安全用具購入費への助成。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動及び交通事故防止運動での街頭指導・啓発活動の実施 交通安全教室の開催 校区交通安全推進協議会への支援

2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

住み慣れた地域で、生涯を健やかに安心して暮らせるまちを目指します。また、誰もが気軽に立ち寄れる場や活動の拠点づくりを進めるとともに、「ふれあいと支えあい」を大切に、人と人とのつながりを感じられるまちを目指します。

(1) ずっと安心して暮らせる地域づくり

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	江南区ふれあい・ささえあいプランの推進	地域包括ケアシステム構築に向け、モデル地区で取組んでいる推進組織による研修や地域での情報提供等を進めます。また、区内の障がい者施設のネットワーク化の推進や施設製品の魅力向上、販売拡充、就労支援を行うとともに、地域との協働による交流事業や福祉大会を開催します。	【実施地区】 曾野木・亀田・亀田東地区 【対象世帯】 2,147世帯 ・民生委員による1次訪問 1,904世帯 ・保健師等による2次訪問 615世帯(健診受診勧奨含)	高齢者の見守り訪問の実施(3地区)
2	地域包括ケアシステムの推進	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各地域において、高齢者等を支える仕組みづくりや体制の整備を進めます。	地域の資源を活用した新たなしくみの整備 ・ネットワーク化による茶の間の活性化及び担い手の発掘と活用 ・茶の間の開設 ・生活支援体制の整備	改善・拡充
3	地域包括ケア推進モデルハウス事業	地域で高齢者を支える仕組みづくりを進めるため、多世代の居場所「地域の茶の間」の運営を支援する基幹型施設として地域包括ケア推進モデルハウスを各区に1か所設置します。	モデルハウスを開設し、地域で高齢者を支えるしくみづくりを進めた。 ・年間1,832人の利用 ・JAとの協働により、野菜の無償提供のしくみを整備	地域包括ケア推進モデルハウスを全区に拡充
4	むすびあい手帳作成普及事業	住み慣れた環境で安心して生活できるよう、在宅で介護サービスを利用する高齢者に医療・介護の情報共有のための手帳を配布することで、在宅医療・在宅介護体制の構築を進めます。	・260冊を配布し、介護者の家族・医師・介護関係者の連携が図られた。 ・専門職の研修時に、手帳の活用についての説明を行い、普及を図った。	改善・充実

5	地域で生活をおくる障がい者支援	地域の社会資源の開発や改善、地域の関係機関によるネットワークの構築、地域生活支援体制の充実に向けた地域課題への対応などの協議及び調整を行い、自立した生活をおくるため住まいや就労などの福祉サービスを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者地域自立支援協議会を10回開催（全体会議4回、ケース会議6回） 基幹相談支援センターとの連絡会議を毎月開催 障がい児アンケート調査の実施（幼稚園、保育園、小中学校、ひまわり等） 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者地域自立支援協議会の開催 基幹相談支援センターとの連携強化 障がい福祉サービスの活用促進
6	かけがえのない命を守ろう～江南区自殺予防事業～	自殺の原因となるうつ病を早期に発見し、働く世代へ自殺予防の啓発を図るため、新潟青陵大学と連携して「こころの健康アンケート」調査を行うとともに講座などを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 相談先お知らせカードを公共施設14か所、民間企業10社に設置及び配布と、2つの商工会を通じて加盟企業に配布 ゲートキーパー研修7回実施（民生委員3回、3包括支援C・区社協職員1回、区役所職員3回） 自殺予防対策検討会1回開催 	<ul style="list-style-type: none"> 相談先お知らせカード配布（配布先拡充） ゲートキーパー研修（基礎研修に加えスキルアップ研修を実施）
7	食生活改善推進委員、運動普及推進委員を中心としたイベントや講座の開催	食生活の改善や日常生活での運動を普及させることで、地域の健康の向上につなげます。そのため、普及講習会の開催（調理実習とテーマを決めての講話、体操等）や、てくてく歩こう会の開催などを実施します	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進普及講習会1テーマ×5会場 計5回 79人参加 	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進普及講習会1テーマ×5会場 計5回 てくてく歩こう会 春に実施予定
8	運動を地域で普及する事業及び骨粗しょう症予防事業	地域における健康づくりを推進するため、「生活習慣病予防教室」や「運動でヘルスアップ」を開催するなど意識啓発などを図ります。また、骨粗しょう症予防のため、骨密度相談会や骨粗しょう症講演会を開催するなど健康寿命の延伸につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防教室 6回1コース+フォロー教室1回 81人参加 運動でヘルスアップ 2回1コースを5回 81人参加 骨粗しょう症予防相談会6回 160人参加 骨粗しょう症講演会1回 34人参加 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防教室 3回1コースを2回 運動でヘルスアップ 2回1コースを5回 骨粗しょう症予防相談会6回 骨粗しょう症予防講演会1回
9	脳の健康教室（楽しく脳力アップ塾）	認知症・閉じこもりのおそれのある人を対象に、定期的に通所し、簡単な「読み書き」「計算」レクリエーション等の脳活性化訓練を実施することにより、認知症や閉じこもりを予防し要支援・要介護状態になることを予防します。	5か月間で毎週1回、計20回開催 10人参加	認知症予防出前講座を実施
10	健康寿命延伸に向けた取り組み	保健・医療・介護のデータ分析に基づき、地域の健康課題を的確に把握し、より効果的な施策の検討を行うことで、健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間での健康教育を21か所で実施 ミニドック型集団健診を3日間実施 受診者275人 各種事業等における受診勧奨の実施 ふれあい・ささえあい交流事業で健康・栄養コーナーを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間での健康教育の実施 ミニドック型集団健診の実施 受診率向上のための受診勧奨 ふれあい・ささえあい交流事業で健康・栄養コーナーを実施

(2)子どもを安心して産み育てられるまちづくり

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	待機児童ゼロ対策(保育士の確保)	待機児童ゼロを堅持するため、年度途中の入園希望に対応できる職員配置を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・4月入園時、待機児童1名発生 ・年度途中の保育ニーズに応じた職員配置により、その後の待機児童はなし 	年度途中の保育ニーズに応じた職員配置
2	地域子育て支援拠点事業	地域での子育てを支援するため、親子が遊びながら相互の交流を行う居場所の提供、保護者の子育てに対する不安・悩みを解消するための相談、情報提供、助言を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館職員を含めて意見交換の場を年4回開催 ・子育て支援センター実利用者(3歳以下の登録者)653人 	児童館職員を含めて意見交換の場を年4回開催
3	安産教室	妊婦が安心して出産を迎えられるよう、妊娠中の過ごし方や、安全な出産と育児について、教室を開催します。	2回コースの教室を4回開催	2回コースの教室を4回開催
4	育児相談	概ね就園前の乳幼児を対象に、亀田健康センターにおいて、お子さんの身体計測や乳幼児の発達・保育・離乳など子育てについての相談を受け付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ・亀田健康センター 月1回開催 ・子育て支援センター(3か所)での育児相談(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・亀田健康センター 月1回開催 ・子育て支援センター(3か所)での育児相談(随時)
5	保育園の地域交流	地域の方を保育園の運動会などの行事への招待するほか、祖父母との交流活動や園児以外の児童や異年齢交流などを通じ、地域の交流を深めます。	全保育園で実施	全保育園で実施
6	未来へつなごう！中高生やりたいこと応援プロジェクト	江南区福祉センターに設置する「子どもたちの居場所」を拠点に、自主イベントの企画・実施など中高生の「やりたいこと」を応援します。また、居場所のルールづくり等を行う運営組織の立ち上げを目指します。	年間利用者 8,146人	年間利用者 8,200人
7	ほっとスマイル！親子ふれあい応援	子ども自身の育つ力を育み、子どもたちが健やかに育つまちづくりを推進するため、地域や家庭において、心と体のふれあいを実感できるわらべ歌や木製ブロック遊びの講習会・イベント等を実施します。	実行委員会3回開催 イベント実施日：1/28(日) ※参加者：339人	他事業へ移行
8	亀田東児童館運営事業	地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、子ども達に健全な遊びや情報の提供を行います。	利用者数：34,064人	利用者数 26,000人以上

9	子ども・子育て支援新制度推進事業（地域主体運営モデル事業）	「地域の子どもを地域で見守るモデル」として、放課後児童クラブ（ひまわりクラブ）に地域コミュニティ協議会をはじめとする地域から関わっていただけるよう、地域力を発揮できる仕組みづくりを進めます。	地域連携モデル事業として2コミ協実施	地域連携モデル事業の実施
10	初めての子育て支援事業	第1子出産後の母子を対象に「親子の絆づくりプログラム」を実施し、子育ての不安感を軽減するとともに、母親同士の仲間づくりを支援し、地域で互いに支え合い安心して子育てができる環境を育みます。	参加率：全対象者の約37%	参加率：全対象者の概ね3割
11	初めての子育て支援事業フォローアップ	第1子を出産した全ての母親を支援する「親子の絆づくりプログラム」に参加できなかった母親全員を対象に、保健師による戸別訪問、相談・指導を行い、子育てしやすい環境づくりを目指します。	BPプログラムに参加またはフォローアップとして保健師が訪問した割合100%	身近な相談先である「妊娠・子育てほっとステーション」の周知へ移行
12	パパの子育て・情報発信の支援	父親の育児参加を促進し、子育て世代に必要な情報を有効かつ効果的に発信できる仕組み作りを行い、子どもたちが健やかに育つまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議10回開催 ・パパノート1,500部作成 ・江南区子育て情報検索アプリの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・パパノートの配布、効果検証 ・江南区子育て情報検索アプリへの機能追加

創造的な産業を育む活力のあるまち

- 地元の多様な農産物を活用することで、農業と商工業の連携による創造的な産業の育成を図り、江南区ならではの個性と魅力あるものづくりを進めるとともに、新たな雇用の創出を目指します。
- 地域が一体となり、そこに培われた風情や歴史など“地域らしさ”を感じさせる、活力と魅力にあふれた賑わいのあるまちなかを創出し、交流人口の拡大を目指します。

1 創造的な産業の育成

地元の多様な農産物を活用することで、農業と商工業の連携による創造的な産業の育成を図り、江南区ならではの個性と魅力あるものづくりを進めるとともに、新たな雇用の創出を目指します。

(1) 農業の振興

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	地域農業マスタープラン策定推進事業	農地中間管理機構を活用し、区内5地区ごとに、革新的で持続可能な地域農業の実現に向けたマスタープラン策定を推進します。	1地区で策定の検討（両川地区内）	No.5「人・農地プラン推進事業」に移行
2	魅力ぎっしり江南区の創造と発信	区内5地区それぞれの農産物や歴史、施設などの地域資源を地域が連携して活用する仕組みを構築し、食を主体とする様々な文化の創造と情報発信を行うと同時に、食育を推進するなど、地域の農業振興を図ります。	1地区（曾野木地区）において実行委員会設立の検討している。	1地区で実行委員会設立
3	農業特区活用推進事業	「食」と「農」を活かし、区の魅力を新たに創造・発信するため、農業分野における国家戦略特区を活かした地域づくりについて区内5地区で検討します。	未実施	事業休止
4	環境保全型農業推進事業 （環境と人にやさしい農業支援事業） （5割減農薬減化学肥料支援）	環境にやさしい持続可能な農業を推進するため、化学肥料などの使用料低減など、環境保全型の農地・土づくりを積極的に支援します。	区内全域で実施	区内全域で実施
5	人農地プラン推進事業【新規】	今後の農業の推移を踏まえ、できるだけ多くの地区で人・農地プランの話し合いを進め、地域農業の将来像を見据え、農地中間管理事業を活用し、農地集積・集約化を進めることで農業振興を図ります。	/	2地区で新規の話し合いを進める。
6	「農」に親しむ事業【新規】	江南区親善大使キャラクターを積極的に活用しながら、収穫体験や加工体験など「農」に親しむ機会を提供し、地元生産者や農産物への理解と江南区の知名度アップを図ります。		<ul style="list-style-type: none"> ・収穫体験・加工体験 ・学校給食との連携 ・笑顔の加工品づくりキャンペーン

(2) 新たな産業の創出

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	魅力ぎっしり江南区の創造と発信 (再掲)	区内5地区の連携により、農業分野における国家戦略特区指定による規制緩和を生かした農工商連携を進めることで、付加価値の高い食品開発に向けた仕組みづくりを進めます。	1地区(曾野木地区)において実行委員会設立の検討している。	1地区で実行委員会設立
2	食文化創造推進 旬果旬菜いきいきフェスタ	江南区の魅力を生かした特産商品開発を支援します。また、旬の味覚を味わい、特産品を見て、触れて魅力を感じていただくイベントを開催し、地域特産の製品の販売・PRを行うことで、地域産業の育成を進めます。	江南区の特産品開発協議会を支援し、旬果旬菜いきいきフェスタやフードメッセに特産的製品を出展した	特産品育成・見本市出展
3	農業特区活用推進事業	「食」と「農」を活かし、区の魅力を新たに創造・発信するため、農業分野における国家戦略特区を活かした地域づくりについて区内5地区で検討します。	未実施	事業休止
4	販路開拓支援	区内5地区において、新潟IPC財団と連携し、区内製品の販路拡大・開拓に向けた支援を行います。	IPC財団の支援を受け、亀田地区の2社が工業技術見本市に共同出展した	1地区で実施
5	「農」に親しむ事業【新規】 (再掲)	江南区親善大使キャラクターを積極的に活用しながら、収穫体験や加工体験など「農」に親しむ機会を提供し、地元生産者や農産物への理解と江南区の知名度アップを図ります。		<ul style="list-style-type: none"> ・収穫体験・加工体験 ・学校給食との連携 ・笑顔の加工品づくりキャンペーン
6	江南区ぐるっと巡って発見・体験 ツアー【新規】	観光資源の発掘及び深掘りと、その組み合わせにより魅力を高め、新たな観光資源として活用します。また、その情報を発信・提案し、集客と交流人口の拡大を図ります。		<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の発掘・深掘り ・観光関連事業の実施

2 活力と賑わいのあるまちなかの創出

地域が一体となり、そこに培われた風情や歴史など“地域らしさ”を感じさせる、活力と魅力にあふれた賑わいのあるまちなかを創出し、交流人口の拡大を目指します。

(1) まちなかの活性化と交流人口の拡大

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	商店街活性化事業	商店街と連携し、商店街活性化に向けた本市支援制度などを的確に利用していただくことで、江南区における魅力ある商店街づくりを進めます。	4地区で本市支援制度や商工会関係、IPC財団関係の支援制度を活用した取り組みを実施した	4地区で実施
2	魅力ぎっしり江南区の創造と発信（再掲）	区内5地区それぞれの農産物や歴史、施設などの地域資源を地域が連携して活用する仕組みを構築し、区の様々な魅力の創造と情報発信を行うことで、交流人口の拡大を推進します。	1地区（曾野木地区）において実行委員会設立の検討している。	1地区で実行委員会設立
3	江南区未来づくりプロジェクト（再掲）	江南区の豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網などの強みを最大限活用する方策について、人口、産業、土地活用を踏まえて検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 江南区まちづくり協議会の設立、意見交換の実施（年3回） 新たな工業用地確保を踏まえた、宅地の必要性、適地や規模の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 江南区まちづくり協議会の開催（年3回程度）
4	江南区ぐるっと巡って発見・体験ツアー【新規】（再掲）	観光資源の発掘及び深掘りと、その組み合わせにより魅力を高め、新たな観光資源として活用します。また、その情報を発信・提案し、集客と交流人口の拡大を図ります。	/	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の発掘・深掘り 観光関連事業の実施

未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち

- 将来を担う大切な人材である子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭や地域が連携して学・社・民の融合により、教育力の向上を図ります。
- 先人から受け継がれた歴史や伝統を継承し、多様な文化芸術にふれる機会の創出や市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりなど、さまざまな個性が発揮でき、生涯にわたり人が輝くまちを目指します。

1 地域と共に創る子どもたちの未来

将来を担う大切な人材である子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭や地域が連携して学・社・民の融合により、教育力の向上を図ります。

(1) 生涯にわたり学びの機会の提供

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	子ども体験教室	子どもたちが仲間同士で様々な活動を通して、助け合いや協力することについてを学びます。	亀田地区公民館：6事業実施 曾野木地区公民館：6事業実施 横越地区公民館：2事業実施	各地区公民館で実施
2	学習室開放事業	子どもたちの長期休み期間などに公民館の学習室を開放し、子どもたちが集中して学習する場を提供します。	亀田地区公民館：89回提供 曾野木地区公民館：83回提供 横越地区公民館：50回提供	月2回のほか長期休暇など随時
3	江南区文化会館連携事業	世代を問わず、誰もが気軽に参加できる講座を、複合施設である江南区文化会館の特徴を活かし、公民館、図書館、郷土資料館による連携事業で実施します。	11月に江南区文化会館合同事業「たまたてKOBU」を実施。 参加者数：102人	2回実施

(2) 学・社・民の融合による教育の推進				
	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	地域と学校パートナーシップ事業	学校に配置された地域教育コーディネーターを核として、地域や社会教育施設との様々な活動を結びネットワークづくり、教育活動における地域人材の参画と協働等を推進します。	学校支援ボランティア延べ人数 (区内1校当たり年間) 1,013人	学校支援ボランティア延べ人数 (区内1校当たり年間) 1,000人
2	地域と学校パートナーシップ事業(ウェルカム参観日)	パートナーシップ事業の地域への更なる広報・周知を図るため、地域の誰もが参加できる「ウェルカム参観日」を区内の学校で実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 区役所だよりの周知記事作成についての支援 区教育ミーティングにおいて好事例として紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 広報のさらなる充実 ウェルカム参観日実施の支援
3	改築、大規模改修事業等	学校施設の老朽度や建築経過年数等を踏まえた、校舎の大規模改修により、子どもたちが安心して学べる安全な施設整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 曾野木小、横越小、亀田小、亀田中 大規模改造工事 曾野木小、横越小、亀田小、亀田中大規模改造実施設計 	<ul style="list-style-type: none"> 曾野木小、横越小、亀田小 大規模改造工事 曾野木小、横越小 大規模改造実施設計
(3) 家庭教育の支援				
	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	家庭教育学級	乳幼児期や児童期など、各世代における課題などについて学びあえる家庭教育講座を実施します。 (乳幼児期家庭教育講座、幼児期家庭教育講座、児童期家庭教育講座 など)	亀田地区公民館：6事業実施 曾野木地区公民館：2事業実施 横越地区公民館：6事業実施	各地区公民館で実施

2 文化が花開きスポーツの盛んなまちづくり

先人から受け継がれた歴史や伝統を継承し、多様な文化芸術にふれる機会の創出や市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりなど、さまざまな個性が発揮でき、生涯にわたり人が輝くまちを目指します。

(1) 文化の振興・文化の創造

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	江南区文化創造事業 (新規・拡充)	国内外の著名なアーティストや新潟にゆかりのあるアーティストによるコンサート、区民が親しみやすい事業の実施を通じ、更なる文化芸術の創造と振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県立大学×江南区文化会館連携事業 ・全国社会人落語まつり ・江南区演劇公演 ・プロボーザルによるコンサート ・ウインターコンサート（共催） ・イングリッシュ・プラス・アカデミー（共催） ・江南区プラスフェスティバル（共催） 	区民ニーズに応じた内容で事業を実施（年間6事業程度）

(2) 歴史や伝統の継承

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	江南区郷土資料館管理運営事業	江南区の歴史・文化を分かりやすく伝える館運営を「江南区郷土資料館を応援する会」などと協働して行います。	来館者数：20,834人	施設運営 来館者数目標：前年度以上
2	子ども向け江南区歴史講座事業 市民ボランティア育成事業	現在社会科の授業等で来館した小・中学生に行っている説明を講座に発展させることで、若い世代に江南区の歴史や伝統を伝え、継承していきます。また、講師を務めるボランティアの育成もあわせて行います。	実施回数 7回 (参加者数：526人)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向け江南区歴史講座の開催 回数目標3回

(3) スポーツ活動の支援・振興

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	スポーツに親しむ機会の創出 (新規・拡充)	ランニングやウォーキングなど身近に取り組めるスポーツや、年齢・経験を問わず誰もが参加できるニュースポーツ(フロアカーリング)などのイベントを実施し、区民がスポーツに親しむ機会を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> ランニングセミナー 1回 江南区健康ウォーク 1回 フロアカーリング交流会 7回 走り方教室 1回 以上の4事業を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ランニングセミナー 江南区健康ウォーク フロアカーリング交流会(親善大会含む)等の実施 目標：4事業以上
2	江南区スポーツ施設の管理運営事業	指定管理による江南区内体育施設(亀田総合体育館・横越総合体育館・亀田運動広場・かわね公園グラウンド・横越体育センター)の運営を通じた教室の開催など、スポーツに親しめる環境づくりを目指します。	施設年間利用者数：568,528人	施設年間利用者目標：540,000人以上 ※施設改修工事による利用休止期間の利用者を考慮
3	地区スポーツ振興会補助事業	地域の特性に合った、より身近なスポーツ事業の展開を図ることにより、地域のスポーツ振興と活性化を推進する江南区内の地区スポーツ振興会へ引き続き補助金を交付します。	地区スポーツ振興会(亀田・大江山・曾野木・東曾野木・両川・横越)を支援した。	地区スポーツ振興会への支援(亀田・大江山・曾野木・東曾野木・両川・横越)
4	区体育協会連携事業	青少年健全育成や生涯スポーツ活動を広くPRし、底辺の拡大を図ります。また、区体育協会加盟団体等へ、スポーツの国際大会等出場者激励金制度や区体育協会スポーツ表彰をPRし、競技力の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 区内スポーツ少年団等紹介案内を区役所・体育館に設置。また区HPでも公開。 スポーツ表彰式の実施にあたり、会場(区役所)を提供した。 区体育協会総会等で激励金制度の周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 区内スポーツ少年団等紹介 スポーツ表彰式の開催 国際大会等激励金制度の啓発
5	学校グラウンド等の有効活用検討	地域のスポーツ振興のため、廃校となったグラウンド等の有効利用について検討します。	旧酒屋小グラウンドを両川コミュニティ協議会に貸付。地域のコミュニティ活性化事業に活用。	協働による有効活用

区民がまちづくりの主役として輝くまち

- さまざまな地域課題解決に向けて、区自治協議会、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会などとの協働をさらに深め、区民が主役となる自治の実現を目指します。
- 江南区サービス憲章に基づき、区民の立場に立って迅速・丁寧な対応を目指すとともに、多様な区民の声を大切にする区役所づくりを進めます。

基本方針Ⅴ 区民がまちづくりの主役として輝くまち

1 区民と共に歩む協働のまち

さまざまな地域課題解決に向けて、区自治協議会、地域コミュニティ協議会、自治会・町内会などとの協働をさらに深め、区民が主役となる自治の実現を目指します。

(1) 区自治協議会との協働

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	区自治協議会運営事業	区民に身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整及び取りまとめを行い、区役所などと連携し、区民等と市との協働の「要」としての役割を担う区自治協議会を運営します。また、地域課題に即した部会を開催し、課題解決に向け取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 会議の開催 12回 部会の開催 延41回 自治協提案予算の弾力的運用（早通コミ協） 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の開催 12回 部会の開催 12回以上 自治協提案予算の弾力的運用
2	区自治協議会委員研修会	毎年1回、区自治協議会委員の研修を実施するほか、区自治協議会委員の改選年には新任委員に対して研修を実施します。	区自治協議会委員研修会 H30.3実施 新任委員研修：H29.4実施	研修の実施
3	区自治協議会活性化事業	区民の区自治協議会への認知度や、活動への理解、関心を高めるため、区自治協議会広報紙を継続的に発行します。	広報紙：年2回発行	広報紙 年2回以上の発行

(2) コミュニティ活動への支援

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	地域づくりの拠点創出事業	地域が主体的にまちづくりを行うための拠点である「まちづくりセンター」の整備を進めます。また拠点整備に併せて、拠点における人材の発掘・育成を図ります。	大江山まちづくりセンター整備（再整備）	まちづくりセンター整備箇所検討 人材育成講座の開催検討
2	自治会・町内会長会議の開催	各種補助制度の周知や身近な課題などの情報共有を図るため、自治会・町内会長会議を開催します。	区内5地区で4月に開催	区内5地区で開催
3	地域コミュニティ育成事業	地域コミュニティ協議会の運営を支援し、地域コミュニティ協議会による持続的な地域の特性を生かしたまちづくり活動につなげます。	運営助成金の交付 区内8コミ協8団体 支援職員の配置 区内8コミ協8団体	・助成金の交付 8団体 ・支援職員の配置 8団体
4	地域活動補助金	自主的・主体的なまちづくり活動の取り組みの促進を図り、豊かな地域社会を実現するため、地域課題の解決を図る活動等に補助を行います。	地域活動補助金を7団体（19事業）に交付 内訳：コミ協4団体16事業、 その他非営利団体3団体3事業	補助金の交付
5	コミュニティ活動設備整備補助金	地域が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指し、コミュニティ活動に直接必要な設備の整備に対しての補助を行います。	5団体に、地域活動補助金の「施設整備補助」として補助金を交付	補助金の交付
6	曾野木地区市営住宅跡地コミュニティ活動拠点整備事業	コミュニティ活動拠点などの整備について、地元及び関係機関と協議しながら、必要な機能について検討します。	・地域住民との意見交換の実施 ・地域実行計画の策定 ・基本構想策定に向けた検討委員会の開催（2回）	基本構想策定

基本方針Ⅴ 区民がまちづくりの主角として輝くまち

2 区民の声を大切に作る区役所づくり

江南区サービス憲章に基づき、区民の立場に立って迅速・丁寧な対応を目指すとともに、多様な区民の声を大切に作る区役所づくりを進めます。

(1) 親しまれ信頼される区役所

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	男女共同参画啓発事業	男女共同参画地域推進員と連携して地域での男女共同参画啓発事業を継続して実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画啓発チラシ配布 講演会開催を中止し、アピタ亀田店での啓発パネル展示を実施 	男女共同参画啓発パネル展の実施
2	江南区サービス憲章の遵守	江南区サービス憲章5つの心（約束）に対する取り組みを推進します。①迅速・丁寧、②連携・協働、③向上心、④発信・共有、⑤信頼・親近感	江南区サービス憲章を日頃より実践	江南区サービス憲章の実践
3	人材育成事業	職員資質の向上を目的に職員研修を実施するとともに、各業務に関する専門研修への参加を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の実施（接遇研修、防災研修など） 各種研修への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の実施 各種研修への参加促進
4	窓口改善運動の推進	区民の視点に立った、わかりやすい窓口対応を進めるため、窓口改善運動PTによる改善事項の検討を進め、案内表示等の改善を実施します。	1階フロアのレイアウト変更やソファの増設による待合スペースの改善などを実施した。	案内表示等の改善

(2) 広報・広聴の充実

	事業名	事業概要	第2次工程・数値目標	
			平成29年度の実績	平成30年度の計画
1	区役所だより発行事業	区の行政情報、区内各施設の催しや地域の話題などの情報を発信し、情報の共有を図るため、区役所だよりを発行します。	区づくり事業など重点施策を紹介した。	内容の充実を図りながら発行
2	区長懇談会開催事業	区長とコミュニティ協議会との懇談会を開催し、地域の現状・課題などについて区民と区長が直接意見交換することで、区民の意見を区政に反映させます。	全コミ協と実施（8回）	全コミ協と実施（年8回）



緑と調和した
賑わいと安らぎのあるまち
江南区

平成30年5月

新潟市江南区役所 地域総務課

〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5
TEL:025-383-1000 FAX:025-381-7090